

令和5年第4回（6月）筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目	
つくし野	横尾 秋洋	1 本市を取り巻く社会情勢について	(1) 令和5年度の市政運営に対する市長の思いは。	
			2 「人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり」について	(1) 国はこども家庭庁を発足したが、本市の具体的な子育て支援及び教育の充実は。新たな組織体制の考えは。
				(2) 各自治体で子育て支援策が広がっているが、独自の支援策の考えは。（保育料・給食・医療費の無償化等）
				(3) 認可保育所の整備拡充により、本年度の待機児童数から解消できるのか。少子化の影響による課題と対策は。
				(4) 子どもの居場所づくりに関し、遊び場や学習支援、食事の提供等一体的に活動を行う新たな施設が必要では。
				(5) 児童・生徒の増加対策として、スクールバスを導入し学校選択制も視野に入れて検討するべきではないか。
		(6) 不登校児童・生徒が増加傾向である。学習できる環境の整備やフリースクール等との連携など新たな対策は。		
		3 「市民が織りなすスポーツ・文化のまちづくり」について	(1) 幅広い世代がスポーツを親しむことができる取り組みとは、具体的にどのようなことか。	
			(2) スポーツ施設の在り方の検討に関し、スポーツのまち筑紫野を目指すためにどのような構想をもってあるのか。	
			(3) 本市には、市民ニーズが高い総合体育館、硬式野球場、市民プール等の施設はないが、新設の考えは。	
			(4) 文化芸術活動の振興を図るとあるが、具体的にどのような方々とどのような方法で進めていくのか。	
			(5) 日本遺産『西の都』の構成文化財に関し、近隣自治体や関係団体との具体的な連携構想は。	
		4 「自然をまもり未来を育むまちづくり」について	(1) 国の目指す姿と第三次環境基本計画との整合性は取れているのか。	
			(2) 国の温室効果ガス削減目標で、国と市では乖離が見受けられるが、その理由は。	
			(3) 産業廃棄物に係る諸問題は法令を遵守しつつ、市としての役割を果たすとあるが、具体的にはどういうことか。	
		5 「強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり」について	(1) 「地域経済活性化施策の充実・強化を求める意見書」が提出されたが、どのように反映されているのか。	
			(2) 観光資源全般の活用について、どのように考えているのか。（温泉施設・魅力の発信方法等）	
			(3) 有害鳥獣対策に関し、駆除活動の支援、わな猟免許の取得経費の助成で解決が図られるのか。	
			(4) 地域計画を取り纏めるとあるが、従前の「人・農地プラン」との違いは何か。どのような効果が見込まれるか。	
			(5) 本市で採れた農産物のさらなる地産地消への取り組みについての考えは。	
			(6) ITを導入したスマート農業への支援の考えは。	
			(7) 飼料価格の高騰対策で畜産農家への具体的な支援は。米麦農家に対する支援の考えは。	
			(8) 飼料や肥料の高騰は常態化を前提として、生ごみ分離による堆肥と飼料にリサイクルし支援してはどうか。	
		6 「支えあい、暮らしに寄り添う健康・福祉のまちづくり」について	(1) 地域包括ケアシステムの目標年次が目前に迫っているが、進捗状況は。今後の課題をどのように捉えているのか。	
(2) 健康寿命延伸の取り組みをどのように考えているか。				
(3) 各健診・各種がん検診等の受診率の状況は。また、具体的な受診率向上の取り組みは。				
(4) 第3期障がい者福祉長期行動計画のこれまでの課題と次期計画の策定方針は。				
(5) セーフティネットに関し、主な課題と対策は。コロナ禍で生活保護世帯はどう変化したか。今後の見通しは。				

令和5年第4回（6月）筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
		7 「安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり」について	(1) 防犯・防災・交通の市街地整備に関し、基本姿勢についての方 向性及び都市基盤整備の具体的な内容は。 (2) 国道3号バイパスに関し、事故が多い針摺交差点对策は。君 畑・高尾交差点の渋滞解消対策は。 (3) 「国道3号バイパストンネルの道路整備等求める」要望書が提 出され、請願書が採決された。事故防止対策は。 (4) (仮称) 筑紫野インター線及び山口・原田線の道路整備の進捗 状況は。 (5) 警固断層帯に起因する地震による被害が懸念されるが、今後の 地震対策の課題と具体的な取り組みは。 (6) 特殊詐欺やアポ電強盗の犯罪が全国各地で発生している。今 後、本市の犯罪抑止に向けた新たな対策は。 (7) 通学路等の防犯カメラ設置支援とあるが、どのような効果を考 えているのか。今後の設置運用の考えは。 (8) 地域公共交通計画の策定作業の具体的な手法は。高齢者が多く なる中、過疎地域の交通サービスの考えは。 (9) J T九州工場の撤退に伴う本市への税収等の影響は。跡地に対 する調査研究とは。
		8 「政策実現のための市民目線の行財政運営」について	(1) 行財政運営に関し、規律ある財政計画とは何か。積極的な企業 誘致など財源確保となる具体的な施策は。 (2) 公共施設の維持管理や遊休資産の活用への考え方は。(旧庁舎 本館、二日市コミュニティセンター等) (3) 今後の人材育成と組織及び正規職員定数の考えは。 (4) 各種ハラスメントの防止に関する規程が整備されたが、該当事 案が発生した場合の具体的な処理方法は。 (5) まちづくり座談会の運営方法は。
		9 「令和5年度の予算編成」について	(1) 令和5年度の予算額351億3千万円の裏付けは。 (2) 歳入の見通しはあるのか。 (3) 市長が目指す「住みたいまち日本一」への予算配分が出来たの か。
市民会議	上村 和男	1 はじめに	(1) 市長に就任されて5か月目ですが、いまの率直なお気持ちはど うですか。 (2) 新しい筑紫野市の実現を掲げられているがその内容はどのよう なものか。 (3) 施政方針で掲げられている課題は第六次総合計画との関連をど のように考えられているのか。 (4) 世界的歴史的転換期に際していると考えるが、どのような認識 か。
		2 人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくりについて	(1) 保育人材確保に向けてどのような施策を考えているか。 (2) 養育費支払いの働きかけと不払いの場合の市の立て替え制度は 考えられないか。
		3 市民が織りなすスポーツ・文化のまちづくりについて	(1) 異文化理解・多文化共生を進め、多様性を認め合える豊かな文 化あふれる街づくりを推進すべきではないか。

令和5年第4回（6月）筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
		4 自然をまもり未来を育むまちづくりについて	(1) 脱炭素社会にむけて数値目標の見直しと、国県が定める数値目標との整合性を図るべきではないか。 (2) 市民、団体、事業者が一体となったごみ減量を進める主体はどのようなものか。 (3) リデュース、リユース、リサイクルの3Rの普及・啓発はどのように進めるのか。 (4) 学校教育での環境教育は本市の自然環境を活用した取り組みも必要ではないか。 (5) 環境教育副読本は児童全員に配布し授業に活用すべきではないか。 (6) ダム上流にある産業廃棄物処分場周辺環境等の現状を市民に周知すべきではないか。
		5 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくりについて	(1) 企業誘致や事業継承、創業支援についての考え方は。 (2) みどりの食料システム戦略についての本市の考え方・推進計画は。 (3) 農業振興のために市内農産物を学校給食に取り入れ地産地消を推進すべきではないか。 (4) 森林環境譲与税を活用し、フォレストアドベンチャー等による林業活性化と魅力発信をすべきではないか。 (5) 物価高騰による市民の生活困難、農業、観光業など地場中小商工業への支援をどのように考えておられるか。
		6 支えあい、暮らしに寄り添う健康・福祉のまちづくりについて	(1) 高齢化社会の中で、今後の高齢者福祉をどのように進めていくのか見解は。 (2) 地域包括ケアシステムの推進が必要。現状をどのように見ているのか。 (3) 健康推進のまちづくりを市民協働で進めるべきと考えるが見解は。 (4) 「人権尊重のまちづくり」は市のまちづくりの基礎と考えているが見解は。
		7 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくりについて	(1) 豪雨・大規模震災に備え防災備蓄や避難施設の整備を進めるべきではないか。 (2) 特殊詐欺は巧妙化しているが、関係機関との連携強化はどのように進められているか。 (3) 地域公共交通計画の策定の考え方と進め方はどのようなものか。 (4) J T跡地の野球場を市民の野球場とできないか
		8 政策実現のための市民目線の行財政運営について	(1) 3月議会で採択された請願2件をどのように受けとめられているのか。 (2) 政策実現のための職員の能力向上の人材育成はどのように進められているのか。

令和5年第4回（6月）筑紫野市議会定例会会派代表質問

会 派 名	質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
公明党 筑紫野市議団	宮崎 吉弘	1 人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくりについて	(1) こども家庭庁の初年度にあたり、本市の組織体制はどのように考えているのか。
			(2) こども基本法の着実な施行として、自治体こども計画や、子ども若者意見反映推進などをどう進めていくのか。
			(3) 待機児童解消に向け、小規模保育・認可保育所の新設で保育の受け皿確保の見通しは。
			(4) 保育士の負担軽減策として、登園時の繁忙な時間などに補助するスポット支援員の活用の考えはあるか。
			(5) 待機児童対策等にも寄与している届出保育施設へ近隣4市は施設運営支援費補助金があるが、本市もすべきでは。
			(6) 子どもの居場所づくりとして、こども食堂への支援、プレーパーク等外遊びの場を望む声もあるが見解は。
			(7) 児童数増加により、放課後児童クラブでの待機児童の解消にむけた対策はどのように考えているか。
			(8) 文科省が実施した1人1台端末の授業での活用状況の調査結果と、MEXCBT（メクビット）の取組み状況は。
			(9) 地域学校協働活動推進員の配慮により、期待できる効果をどのように考えているのか。
		2 市民が織りなすスポーツ・文化のまちづくり	(1) 全国大会レベルのスポーツ大会を開催できる施設や硬式野球場を望む声があるが、検討のあり方を伺う。
			(2) 文化芸術活動の振興施策として市役所をギャラリーとして活用出来ないか。
			(3) 文化会館を核として、造詣の深い関係団体と文化芸術活動の振興を図るとあるが、その取り組みとは。
		3 自然をまもり未来を育むまちづくり	(1) 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明する自治体が増えているが、「ゼロカーボンシティ」に対する考えは。
			(2) 第三次環境基本計画に基づき3Rの普及啓発等にも公式ラインアカウントを活用してはどうか。
		4 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり	(1) 地域に活力をもたらす産業、雇用の創出について市長の考えは。
			(2) 農業の振興で、次世代農業者を育成することが大切とあるが、少子高齢化の中、多様な人材が必要では。
			(3) 有害鳥獣対策で捕獲率向上を図るうえでICTの活用が必要では。
			(4) 国が今後進める花粉症対策や竹林被害についても本市として検討する考えはあるのか。
		5 支えあい、暮らしに寄り添う健康・福祉のまちづくりについて	(1) 高齢者を対象に、介護施設等でボランティア活動を行った際にボランティアポイント制を導入してはどうか。
			(2) セーフティネットにおいて、基盤となる住居確保から生活再建を図るための相談体制を検討すべきでは。
		6 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくりについて	(1) コンパクト・プラス・ネットワークの取組みは拡大しているが、立地適正化計画の作成の考えはないのか。
			(2) 雨水出水（内水）の対象となる個所が市内にあるが、国、県とどのように連携し取り組まれるのか。
			(3) 利用者の安全確保で「国道3号バイパストンネルの道路整備等を求める要望書」が提出されたが市の見解は。
			(4) 高齢化も進む中、公共施設や交通環境のバリアフリー化は現在どのようになっているのか。
		7 政策実現のための市民目線の行財政運営	(1) 旧庁舎本館、第1別館の解体計画とその後の活用はどのように考えているのか。
			(2) 二日市コミュニティセンターの在り方の検討時期や具体的スケジュールはどのように考えているのか。
			(3) 行政手続きのデジタル化でチャットボットの導入や検討を始めている自治体がある、導入や検討の考えは。